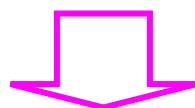


相馬病院看護部目標紹介

★★平成30年度看護部目標★★

1. かかりつけ病院として地域の皆様の期待に応える看護部 「認知症看護を深める」
2. 患者様 first(第一)のためのキーワード
 - 1) safety (安全)
 - 2) careful (丁寧・慎重)
 - 3) priority (優先順位)
 - 4) responsibility (責任)
3. 部署目標・個人目標を実現させ、患者様・ご家族・職員が満足できる病院



今年度の目標は、昨年度の目標の継続としました。

「1」については、マニュアルの完成まで課題があります。しかし、認知症とせん妄は以前から現場での取り組みを実施していただきましたので、スタッフの意識も向上し、対応されています。

また、「2」の患者様の安全面においては、目標に上げるまでもなく、当たり前の事ですが、再度徹底して行って更に安全重視を目標に継続しました。

「3」についても継続して個々の目標を常に念頭に置きながら、管理者との面談も定期的を実施し、目標の達成に向けて業務し、看護の喜びや達成感を感じて頂きたいと思えます。

★★平成 30年度外来・手術室・訪問診療目標★★

『外来・手術室・訪問診療のチームの体制確立と看護の質の向上』

一昨年度に引き続き今年度も外来・手術室・訪問診療のチーム力の強化と看護の質の向上を目標に専門性を生かした設定にしました。

外来は、『外来から始まる退院支援・外来でできる在宅支援』を継続し、個別性のある看護の提供を目的に、薬がきちんと飲めていない患者様や受診日に来院できていない患者様等気にかかる患者様には担当看護師がお話を伺っております。患者様情報を共有し患者様に必要なサービスの提供や家族様への相談や協力依頼を含めて自宅生活を安心して暮らしていただけるサポート体制に取り組んでいます。今年度も継続して患者様の状態を見つめ次に繋げられる体制と安心して外来受診を継続していただける体制を構築していきたいと思っております。また、昨年度実現できなかった外来案内係の実現に向けて、まず出来ることとして外来受診時の患者様や家族様のご様子を拝見し案内係としてお迎えやご案内、相談受付から今年度は始め、外来通院が困難な方に対しては、在宅療養につなげたいと思っております。

手術室は、『安全第1』に環境の見直しや日々の振り返りや積み重ねで患者様・ご家族様が安心して不安なく安全に手術が受けられる環境を追究しています。昨年度から新体制でスタートしました。日々の安全確認作業の徹底や安全意識を常に持ち続けることを継続していきます。今年度は看護記録の見直しも含めて看護記録の充実を目標にしました。

訪問診療は、300名を超える利用者様に当院を利用していただいております。一人でも多く訪問診療を必要とされている患者様の受け入れできる体制づくりと外来・訪問看護、多職種、他事業所との情報共有、情報交換を活発に行い、いつでも患者様からの情報が分かる対応で、安心して在宅生活を送っていただけるよう体制を更に整えたいと思っております。いつでもどんな時でも訪問診療が必要な患者様・ご家族様の期待に十分に答えることができ、満足していただける訪問診療を今年度も目指します。

今年度も外来・手術室・訪問診療の情報共有と連携を合言葉に、各チームの特徴・専門性をとらえた看護についてチームで考える機会を多く持ちたいと考えています。看護部理念に沿って患者様家族様から選んでいただける、満足していただける外来・手術室・訪問診療を目指し、さらなる良質な看護の提供を実践したいと思っております。

★★病棟部署目標★★

『つなぐ、つながろう、つなげよう看護』

『患者様の療養の場・生活の場としての環境整備』

『良質な看護の提供』『働き甲斐のある職場環境を整える』

今年度は2階・3階病棟が統括という新体制となり、より相馬病院看護部の病棟部門として活躍が期待され気が引き締まる思いです。統括となったメリットとして一般病床及び地域包括ケア病床をコントロールし、有効なベッド運用を行いたいと思います。

今年度の目標は昨年度とほぼ同じ内容となっています。昨年は目標を個々が意識し、内容の意味や必要性を理解する年になったと思います。今年度は実行する行動変容の年と考え、より達成度を上げ、患者様の安全と「良かった」と言って頂ける看護の提供に努めたいと考えています。

入院して来られる患者様もご高齢の方が多く、環境の変化で転倒・転落の恐れがあったり、一時的に場所や時間の感覚が変化したり、認知症の方は不安定になられることがあります。昨年作成した“せん妄アセスメントシート”を活用し、患者様個々に応じた変化に対応し、ベッド周囲の安全な環境調整に努めたいと思います。

退院支援・退院調整に関しては、入院直後から患者・御家族様と積極的に話す機会を持ち、退院後の状況を一緒に考える姿勢が定着してきました。担当看護師を中心にチーム・病棟で協力しながら他職種とも連携し、情報交換していきたいと考えます。病棟だけで完結することのない看護ですので、院内外と繋がる看護の展開を目指していきます。

また退院支援・調整だけに関わらず、日々提供している看護においても記録という形に残す事が大切です。患者様から得た様々な情報から専門的にアセスメントし看護の提供に繋げている、その内容をSOAP記録で書き残すことで、情報共有し振り返りができ、看護の可視可が出来ると考えます。

患者様に提供する看護の中でも薬剤管理に関しては、昨年度から引き続き病棟の大きな目標としてしっかりアセスメントとチェック機構を働かせ「インシデントゼロ」を掲げていきます。

目標を意識する中で、働きがいのある・喜びを見出せるスタッフのための環境調整も必要です。ワークライフバランスの充実として、長期休暇や有給消化の促進に努めながらも、看護の質を高めつつ業務の効率化を図り、各々が時間管理を行い残業時間の短縮に努めたいと目標を掲げています。

私達看護師は患者様・関係する医療従事者・様々な方々と昨日・今日・明日へと繋がっています。患者様第一の考えを更に意識し、つながる看護の提供が行えるよう両病棟一丸となって取り組みたいと思います。

★☆☆透析室目標☆☆★

『安心・安全な透析治療の提供』

『患者様サービスの向上』 『WLBの充実』

透析室は、治療中の患者様が安心して治療が受けられる事、治療をつづけていく不安を少しでも緩和できる透析室の環境・スタッフを充実させる事が大切だと考え、目標としました。

安全・安心な透析治療の提供は、従来どおり継続し、本年度は、スタッフ質の向上をマニュアルの整備、勉強会などを通じしっかりと実践していきたいと考えています。

患者様サービスの向上では、昨年度開始されました患者様送迎をもっと快適に実施できるよう患者様の意見をお聞きしながら努力したいと思います。

ワークライフバランスの充実として、個人の希望を考慮し、時間有給休暇を利用しながら有給休暇の取得を促進して行きたいと考えています。

☆☆訪問看護ステーションそうまの目標☆☆

『地域の一員として活躍できるステーション作り』

～利用者・家族を地域で支える看護力の強化～

『地域と協働した活動ができる』 『看護の質の維持と向上』 『WLBの充実』

ステーションは、今年度も目標は同じで、前年度達成した行動目標に関しては一部変更しています。

今年は、診療報酬・介護報酬の同時改定があり、“在宅”に重点を置いた改定になっている事から今まで以上に“地域の一員として活躍できる”よう、さらなる看護の質の維持・向上をはかれるよう、そして、なによりスタッフがいきいきと働き続けられるよう、良い職場作りをすることも継続していきたいと思います。

毎年ですが・・・この言葉で締めくくります。

地域のみなさまと一緒に自宅で過ごす喜びを感じながら療養できる場所を提供できるよう、そして、これからも、地域のみなさまに『安心と安全』をお届けできるよう、スタッフ一同役割を果たせるよう努力していきます。